第28回 NCGM研究所セミナー

NCGM seminar series

■ 演者

にしの　　たけし

西野 武士 先生

日本医科大学　名誉教授
東京大学大学院　特任教授

■ 演題

高尿酸血症の標的酵素XOR：その酵素学・代謝的役割・治療薬開発

XORは高尿酸血症及び痛風の治療薬の標的酵素であり、発見抽出が1902年という長い研究史があるにもかかわらずその理解はここ四半世紀になってからである。講演者の長い研究史と日本の製薬企業の意欲に基づき、様々な薬剤が開発され、現在までフェブキソスタット・トピロキソスタットが市販されている。前者は2015年度に世界で700億を超えるヒット商品となっている。これらの開発で学んだことは基礎研究の重要性である。その開発の概要の解説と薬剤の適用応用について講演する。

■ 日時

2016年6月13日（月）
17:00～18:00
＊入場無料

■ 場所

国立国際医療研究センター
研究所AB大会議室
＊国府台中継予定

皆さまのご参加を
お待ちしております

■ 参考論文

- *Curr Pharm Des* 19:2606-2614, 2013 （創薬：総説）
- *FEBS J.*, 275(13), 3278-3289, 2008（酵素タンパク分子の概要：総説）
- *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*, 101(21), 7931-7936, 2004 （トピロキソスタット）
- *J. Biol. Chem.*, 278, 1848-1855, 2003 （フェブキソスタット）
- *The Metabolic and Molecular Basis of Inherited Disease (C.R. Scriver et al., eds.)*, 7th edition,, pp1781-1797, McGraw Hill, 1995 （欠損症、酵素の代謝的役割：総説）

主催：　国立国際医療研究センター　　理事　　清水孝雄　Ext.#3001